

令和元年度「かごしま学Ⅰ」公開講義・文化講演会

主催：鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター

共催：かごしま県民大学中央センター（かごしま県民大学連携講座）

後援：鹿児島市教育委員会 南日本新聞社

島唄にみる奄美の女性像

《講演概要》

今、奄美の島唄の世界では、総じて女性の歌い手が元気だ。何と澆刺と活躍している女性が多いことか。その理由の第一は、これまで島唄の伴奏楽器である三味線が男性専用であったというタブーが解かれ、女性も弾けるようになったことである。しかし、理由はそれだけではない。民俗学、奄美風土論等々を総動員して、奄美における男女平等、ひいては女性の優位性について考えてみたい。

講師 おがわ ひさお
小川 学夫（鹿児島純心女子短期大学名誉教授）



1940年生まれ。北海道北見市出身。早稲田大学大学院在学中に奄美に移住。島唄を中心とした民俗学および鹿児島県の文化論研究に従事する。新聞社等の勤務を経て1990年から鹿児島純心女子短期大学で教鞭を取り、南島文学、地域文化論などを担当。1995年～2007年本学図書館長、1996年～2007年本学地域人間科学研究所所長を歴任。2008年より本学名誉教授。近年、『奄美民謡総覧』南方新社(2011)、『歌い継ぐ奄美の島唄』奄美島唄保存伝承事業実行委員会(2014)の編集に携わる。積年の島唄研究の業績により、2006年「第30回南海文化賞」、2018年「第69回南日本文化賞（学術文化部門）」を受賞。

著書 『奄美民謡誌』法政大学出版局(1979)。『奄美の島唄』根元書房(1981)

『民謡の島の生活誌』PHP研究所(1984)。『奄美シマウタへの招待』春苑堂出版(1999)

『歌謡(うた)の民俗 -奄美の歌掛け-』雄山閣出版(1989)

共著 『わらべ歌、子供の文学』(岩波講座日本文学15巻 琉球文学、沖縄の文学) 岩波書店(1996)

『奄美の唄者』講座日本の伝承文学8 在地伝承の世界〔西日本〕三弥井書店(2000)

『対話する歌謡 -奄美の歌を例に- (日本歌謡研究大系上巻 歌謡とは何か)』和泉書院(2003)

論文 「私の奄美民謡研究」『想林』創刊号(2010)

「奄美の島唄を通して見た生きた文化の伝承 -この50年の島唄の変遷」『想林』第4号(2013) 他多数。

日時：令和元年6月27日(木)

14:50～16:20

会場：鹿児島純心女子短期大学

入場無料
(申込不要)

【問合わせ先】

〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号 TEL: 099-253-2677

鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター

(センターの名称は本学創立者Sr.江角ヤスにちなんで名付けられました) (交通アクセス)

